

平成28年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

《 開会行事 》

■開催地挨拶：稚内市長 工藤 広



皆さんこんにちは。この講演会の開催にあたりまして、開催地を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日、当地で平成28年度の「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」の総会を開催させていただきました。また、引き続きこの会場で講演会を開催させていただきますが、皆様大変お忙しい中ご参加をいただきました事に御礼を申し上げます。

本日の講演会は、ご案内の通りお一人目は「クルーズの魅力と市場動向」という題目で、よく御存じのダイヤモンド・プリンセス等々10万tを超える大型クルーズを扱われております株式会社カーニバル・ジャパンの猪俣営業部長さんのお話です。

そしてもう一人は、私共の職員で、もう4年前になりますが第52次南極越冬隊員として南極を経験してまいりました市川君が「私の見た南極」と題してお話しをさせていただきます。猪俣さんからは別室でお話しがございましたけれども、国が「2020年にインバウンド4千万人の誘致」という目標を立てているところではありますが、まさにクルーズ船を営業する立場から、これらの事についてお話をいただけたらと思っております。

また、昨日、国の補正予算が成立をしたというニュースがありましたけれども、今回

の補正予算で、稚内港は大型クルーズ船の受け入れ環境の改善という予算が措置をされました。詳しい説明はまた別途といたしましても今日のテーマと深く関わっておりますので、是非興味を持ってお聞きをいただければと思っております。また、市川君からは先月も「南極観測船砕氷艦しらせ」がこの街に寄港いたしましたけれども、まさに今年は南極観測60周年という事でもございます。改めて市の職員として南極の冬をあるいは1年間を経験したという我々にとっては未体験の話をぜひ皆さんもお聞きいただければと思っております。本日もご参加の皆様には今もまさにテーマとしては日本海でありますけれども、海の魅力について、この講演を通じて考える機会になっていただければ大変ありがたいと思っております。また改めて皆様にお出でいただきましたこと重ねて感謝を申し上げまして、講演会開催にあたり開催地代表としての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。